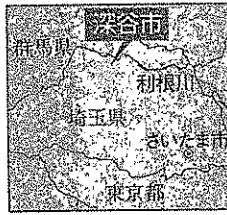


埼玉県深谷市で起きた親子3人の心中事件から1カ月がたちます。高齢の両親と娘の3人は貧困にあえぐ一方、行政支援から断絶していました。(戸川章子)

### 親子心中事件から1カ月

埼玉・群馬の県境を流れる利根川。加藤美里被告(47)は殺人と自殺ほう助の罪で起訴。自ら運転する車に母まりさん(81)と父・茂さん(74)の3人も仮名を乗せたまま入水し、両親は亡くなりました。11月22日に発見されました。命をとりとめた被告は三

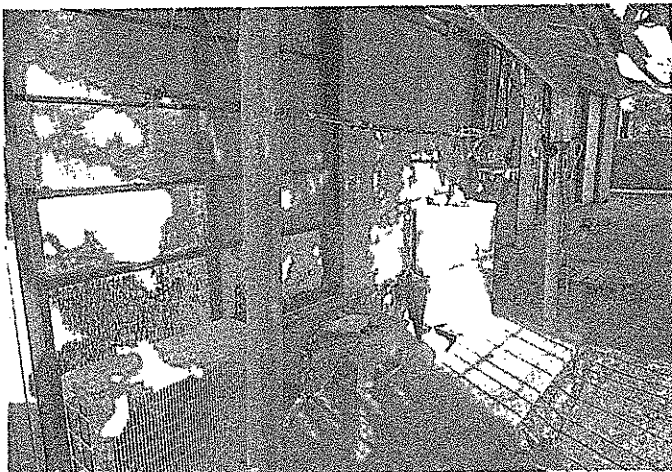
# 事件レポート



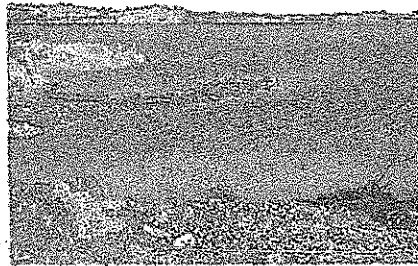
女でした。「認知症の母の介護に疲れた。貯金もなかった。病気になる父から死のうといわれた」と供述したと報じられています。一家は市内の借家で暮らしていました。近所の女性は「30年くらい前から住んでいた。娘さんは独身で、自分で焼いたケーキを届けたりと優しい人でした。ここ数年は介護で閉じこもっていたのか、あまり

## 社会的支援から断絶の果てに

### 認知症の母を介護・父は病気で新聞配達退職・年金もなくなると



親子が暮らしていた賃貸住宅＝埼玉県深谷市



親子が車で入水した現場付近＝埼玉県深谷市

脳梗塞で倒れる  
両親はともに無年金でした。母・まりさんは約10年前に脳梗塞で倒れ、5年ほど前から認知症が悪化した

#### 脳梗塞で倒れる

井正美さんは「まじめで賣

見かけなくなった」といいます。三女は母の介護のため同じく離職。一家の収入は新聞配達をする茂さんの給料(月18万5000円)だけでした。

茂さんが30年ほど勤めていた新聞販売店の所長・坂退職。坂井さんは「体が相

た。事件10日前の11月12日、茂さんは「背中の病気で腕が動かない。もう限界」と

任感の強い人だった」と話します。茂さんが「母ちゃんに俺のことも分からなくなっちゃって寂しい。昼夜逆転し、夜通し話すから寝られない。勝手に外に出るから目を離せない」とこぼしていた姿を覚えています。

行政支援につなげた矢先に行政支援がなくなった。事件後、調査にあたった「埼玉県生活と健康を守る会連合会」の高藤登喜恵事務局長は「長い間、家族だけで窮状を抱えつづけ、心身ともに疲れきっていたのでは」と推測します。

度利用には結びつかない。

生活保護は申請するだけで体が癒える」という人も少なくありません。生活保護は困ったときは誰でも利用できる権利だということ

高藤さんはいいます。「娘さんは事件後『本当は生活保護は受けたくなかった』と語ったと聞いています。生活保護パッシングが強まるなか『申請するだけで体が癒える』という人も少なくありません。生活保護は困ったときは誰でも利用できる権利だということ

生活保護の申請を役所の窓口で受け付けない「水際作戦」は全国で頻発。保護申請後、「扶養義務がある」として三親等まで扶養照会が行われています。

安全網であるはずの生活保護ですが、申請するには非常にハードルが高いのが現状です。生活保護の申請を役所の窓口で受け付けない「水際作戦」は全国で頻発。保護申請後、「扶養義務がある」として三親等まで扶養照会が行われています。

また「行政は頼るものではない」と心を閉ざしていたのでは」といいます。

茂さんは国保料を30万円滞納していました。同市は国保料滞納世帯に財産の差し押さえを行う旨の督促状を送っています。

生活保護申請を役所の窓口で受け付けない「水際作戦」は全国で頻発。保護申請後、「扶養義務がある」として三親等まで扶養照会が行われています。

高藤さんはいいます。「娘さんは事件後『本当は生活保護は受けたくなかった』と語ったと聞いています。生活保護パッシングが強まるなか『申請するだけで体が癒える』という人も少なくありません。生活保護は困ったときは誰でも利用できる権利だということ

生活保護申請を役所の窓口で受け付けない「水際作戦」は全国で頻発。保護申請後、「扶養義務がある」として三親等まで扶養照会が行われています。

生活保護申請を役所の窓口で受け付けない「水際作戦」は全国で頻発。保護申請後、「扶養義務がある」として三親等まで扶養照会が行われています。

生活保護申請を役所の窓口で受け付けない「水際作戦」は全国で頻発。保護申請後、「扶養義務がある」として三親等まで扶養照会が行われています。